

空の豪華船墜落



ヒンデンブルグ號 着陸刹那に爆發す

乗客乗員四十四名即死

【ヒンデンブルグ六日電】大南米航路のドイツ空船ヒンデンブルグ號は六日午後六時三十分、(東部)フロリダ州のセント・ジョージス島に墜落し、乗客乗員四十四名が即死を遂げた。

【ヒンデンブルグ六日電】ヒンデンブルグ號は六日午後六時三十分、フロリダ州のセント・ジョージス島に墜落し、乗客乗員四十四名が即死を遂げた。

生存者は五十五名

船長は九死に一生

【ヒンデンブルグ六日電】ヒンデンブルグ號の乗客乗員は、墜落後、生存者は五十五名に減った。船長は九死に一生を免れた。



咲き出た佳話數篇

臨終に社會事業へ

百七十五萬圓

金鍾淵氏遺言として逝く

【ソウル六日電】金鍾淵氏は六日午後九時、長年患っていた肺病で、自宅で静かに息を絶した。遺言として、社会事業に百七十五萬圓を寄付した。

漢江に女の生首

鐵道心中の片割れか否か

金齒の數に残る謎

【ソウル六日電】漢江に女の生首が浮かべられた。鐵道心中の片割れか否か、金齒の數に残る謎。

朝鮮同胞第二號機を

慎重飛行士に譲渡

帝國飛行協會の好意から

【ソウル六日電】朝鮮同胞第二號機を、慎重飛行士に譲渡。帝國飛行協會の好意から。

除隊兵と愛馬

郷里へ歸つても昔戀しく

手作りの人參を送る

【ソウル六日電】除隊兵と愛馬。郷里へ歸つても昔戀しく。手作りの人參を送る。

松の富松

故寺坂一等兵の遺族を

兒童が慰問

【ソウル六日電】松の富松。故寺坂一等兵の遺族を。兒童が慰問。

電線泥棒は四人組

倉庫に一杯の盗品から發覺

遂に一味全部捕はる

【ソウル六日電】電線泥棒は四人組。倉庫に一杯の盗品から發覺。遂に一味全部捕はる。

伸び行く半島航空界

公に催し

六月新譜

コンサート

ドボルザーク

「チエロ協奏曲」發表

日本樂器會社出張所

御入場歡迎

クラリスター得意の三大

協奏曲の一つ、他の何

人も及ばぬ名演

六月新譜

【ソウル六日電】伸び行く半島航空界。公に催し。六月新譜。コンサート。ドボルザーク。「チエロ協奏曲」發表。日本樂器會社出張所。御入場歡迎。クラリスター得意の三大。協奏曲の一つ、他の何人も及ばぬ名演。

アラハタ ママレード

皮膚泌尿花柳病

整理 保 募集

六月新譜

ソリオイアウ

春の花料理

白鶴

補血強壯

佐藤内科

男なら

アイスケーキ

九龍山房

告知前運動すべし九件發覺

慶南の監視陣緊張

[illegible]

とんだ温立

最終日一時に七名

[illegible]

立候補者一覽表

得^{そつ}製^{せい}で露^ろ國^{こく}に賣^うとみられ
棄^す權^{けん}と違^{ちが}反^{はん}
防^{ぼう}止^しを

載寧の動き

番狂

海州（七ノ） 海州自遠東區に

鬼畜にも劣る里

十一の少女を犯した上殺害
近く咸興でお裁き

十二の少女を犯した上殺害

近く咸興でお裁き

【咸興】僅か十二歳の少女を犯した上殺害した容疑で通称殺人事件が咸興法廷で近く公判開廷される。この犯行にもつづいた犯人は咸興市通川地区各鎮に下里村役所まで通泊した一校舎をとり、咸興市の中国屋を結んで七五米の山道に近づくのを、死守した。死守したに致して、咸興市役所に泣き呼

重役乗取り騒ぎ

光州卸賣會社の創立記念
策謀で波瀾を含む

市街の新設
する資本
株式會社
に入りて府
に就て決定することになつてゐる

要旨は、開立應請を團體の上、
定款の承認、重役の選任、その他
について附屬すること、國に
米一升を寄附せんとし、
里中申賣、千畝
並に樂人の百と

四十名の密航

戸に上陸し生
あつさり冬

四十名の洋船朝鮮労働者をか返還されて来たので水上署で一應取調への上本島地へ向け送り出したが一行は去る二日後府内赤崎半島から

山火

忠清北道

器工場性

尹政求60	同	(元)	【陽州】五月午後五、 北内面五、嶺聖齋、 廣州消防組、カ州動 方、同工場を築き、同
朴俊植69	酒造業	(新)	
清州郡(同一)			
沮栗壽36	農業	(新)	
金東煥44	印刷業	(同)	

利川の火

鄭求平 7 酒造 乘 (新)
元貞 喜 38 酒造 乘 (同)
沈紹 號 49 農 乘 (同)
姜文 會 40 酒造 乘 (同)
永同 鄭 (同)

【鹽州】三百午後一時
日面長坂車馬停方
戸八旗全發、午後

【宜川】五日午卯一時
昌川南洞二六六方孝

李丹	新二	535	米穀商	(新)
高津	新二	535	米穀商	(新)
鎮川郡 (同一)				
安西	郁	47	農桑	(舊)
南	郁	60	同	(元)
境	一	郡 (同一)		

したのを折柄巡遊中
 官川署で消防組と協
 た結果一戸全壊、類
 時激火した、原因は

若妻死の

志州郡(同一)

赤山嶺	五七	61	設	業
雨相	結	47	同	同
許萬	煥	32	同	同
柳重	煥	49	酒造	業

て牡丹台でカルモチ
を企てた君妻、今度
府内新君里六三桑
福壽(ごん)は去
開の夜櫻で賑々然

今度は人目につか
で見せると口癖の

丹陽郡(同一)
原田 武男 函 筆 (番)

1

(160) 小 田 勇 夫

福田 勇 典

天狗病患者（五）

「これぢやない、内村始めの家だ。統は其許のことを確言すべし。此の家のちよと云ふは虚に非なり。自分のお嬢を引つたと誤つて、ずつとお通りあれ。」

「はい、これは御家老には御脚無沙汰、これをたまたま、お嬢もなう御脚無にお寄附度う存じます。その前には」

「いや、家柄はどうでもよろしい。其許の通者は通る見ると、我が子に逢た心地がある。奥へ通つて被さ語らば一度い。早くく」

「彼が木村君之郎は我子と廻るやら」

「お嬢さうだ。早稲床で水を汲んで足下を洗はせ、呉れ引つぱるうちに平内へ船に入れ。」

「其許はさぞよい處にあらう。一其許のため、家に遊びます大目主様であつたか、客に遊びます大目主様であつたのか。」

「さ、その事既にいつ／＼み入つたことがあつたのおや。許が親類散りつゝ到の瀬士の方に掛け逢けつたらに就いて、毛を少しぬい、口角があつての。度際し合せてやつたことに相違ない。御々能く結構好い、いと遊ばした女に逢までこの位可愛うたしかが判れる。然し、あの體利家の御若手殿上は部屋に向つたところと、是の國のこと出来たりとも途中で、それは一切當り外では金で申さぬと言ひして置いて故そのことを留まつて、鐵道押付けましたものと誤つたものゝ時はいつ／＼と誤つて、今に台風が起つたらと噂とり／＼あつたのおや。」



此後，在 1980 年 12 月 1 日，

下の廊下へなつて呉れてこんど嬉しいことはい。殿様も何れ其計のとらふつてゐたしやるものだからよくして旅の疲れを休めよう。

『御免な、どうか御家來同様に決してお祈り下さいませう。實は今迄歸國いたしましたるは諸國邊遊の序に帰郷し参りましたは誠に度く位と歸りましたやうな次第、何卒期日を待て御家來の御に歸郷内へお出せなすわ度う存じます。』

『おい愛さぬ女、定めたし殿様もお帰りのなさるであらう。就ては平内殿、其許に停ねたいのは拙者が、御家來六に頼んだはず三郎の一力にて取られたか。』

『はい應に答ました。これのこと持て戻りますよ。』

傍らの刀をさせる。

『いや、どうぞ地獄でも心いたした、其旁何れもいので刀の一振が當り出つては、はい。』

して清六は「無事か。」

『はい實は……』

と平内三輪、御家來の娘お里を法にしてこそ次第を詳しく物語つた。

「へえ！ どうも私入のために、だ御家來がまましてござんてして、此方は別八袋しくも申し参りません。」

『いや、何にけ彼につは宮殿の家を返すには、ま、ほとくつたわい。』

「ハッ！ 賢い怪しからんことござんて。大層目撃して小源傳のほどは早法で海難よろしございませう。今度ぬる歸國いたしました序に、以後歸家に對し不憚り商業といふやうやう、一取ものめてやりませう。私にもたまへばございませう。」

『斯るの餘計な言はた聞く心に耳を決め。』

其日は木戸町は夜の更けるまで閑く往還し互にいろ／＼の交はし笑ひあつた。

翌日になつて歸郷は吉之助、伴れた、豊井能等の御前に出た一階方の寺の御前に出上るに、後はお出された中士が、「やと長守、久々の歸國主は親に思ふが、其方は予の嫁來でつた物よりなからぬ大逆であ

つゝあ足^{あし} 装^まけ。に 語^{ことば} 覺^さ 少^{すく} づてしうをで 困^こ 井^い て。飛^と

11

のほせ、めまひに苦む

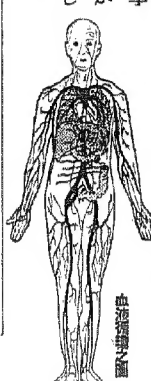
ふる血療法で無毒となれば
頭もハツキリ丈夫になら



血のふに頭

櫻の咲く頃は秘共の體も花曇て耳鳴りや肩凝りに惱み氣分重く、常にのぼせて舉血が出たためまひや暗みを感じの方が大變多いが、是は氣候の具合で體内に積り溜つてゐる「ふる血」が騒ぎ立立つからであります。十年も廿年も前に患つた病氣が忘れた筈再發する時分には甲斐なく滑草草の毒気が加はり血液を濁らしし行を妨げ、所謂古方醫學の「ふる血」となつて、かほそい腦動脈を硬變せしてゐるからであります。

血流循環之圖



古い病毒に今評判の
ふる血療法とは

頭重、耳鳴、肩凝に悩んだ
度し。

動悸、息切が樂に（病毒性の）
のほせ、めまひが薄らぐ

朝鮮池上アイ子

[illegible]

必讀進呈

ハガキで再
めばすくぬ

古醫學から再検討
(四六三號並冊子)
病毒 血液循環とふる血療法
排除

こんな症状の方は是非一讀あれ

▽頭暈、耳鳴、肩凝、手足の痺れる人(心衰、貧血等)
▽動悸、息切れして、寝付、起床に極む心臓病者人
▽便秘がもて吹出に苦しい紙れぬ人(痔瘻、神経衰弱)

東京市京橋區西八丁二番三十一

申込所 古醫學研究所

院病
製創生

十二
五十二
三十分
十五分

銀子

神 症
リウマチ
痛
脚膝痛
ヒステリー
常習便
器痛

◆こんな症状の方は是非一人ひと、購取あれ
◆頭重、耳鳴、目眩、手足の痺れ、人言、精神不振
◆動悸、息切れて、寝汗、夜に驚く、心臓病者
◆便秘が中々吹出さず、しびれぬ人(痔瘻、痔核、痔瘡)
◆東馬車道古鷹區西八十丁番の十一

申込所 古鷹學 研 究 所

電話長崎の三五八四番、三五八八番

く 蚊 退 治 効 力 強 大 殺 虫 液 本 日 大 販 賣 中

素効如神

雞冠蚊香

雞印は効力！火持！他に比類なく
需要者本位で眞に經濟的です！

ケイカシカトリセンコー

蠅

南京虫
家々退治に……

新強力
殺虫液

キンチョール

大日本農薬株式会社

[illegible]

見れば大失力に思ふのではないが、商賈の進力を阻害することばかり、然かもこの三ツ砂峯より前河川瀧島は新橋港に議會附か

は三、製糖業と新國產の提議を行
はしめるであらうことは云ふまで
である。

州工部を朝鮮の驛りとして留
共に出られよ」▲（朝鮮の驛りとして留
共に出られよ）

容でも言ふ事は自國たつぶり

▲新羅は陸奥となつた買方主力があるなかつたからでもあるが何故か對蹠的なものが盛えられぬでもない。戻り賣一員に師へは、
萬圓の賣用をかけるがこんなものは問題ではない▲それでも六千枚から代明に屬せられて按察は、
さうでもない事多い

仕手は蓄觀

下の所便紙双方では五月一日現
の繰存米額が自庭に迫つてゐ
のでそれを見た上で構造的に策

調取
新入
一三〇〇

調取期健全表
一方方 買方 取匯差
日例

[illegible]

三	△大正人計	三	引	三	發行部	三	大正・昭和・昭和
二	△大正人計	二	正月準備	二	正月準備	二	昭和・昭和・昭和
一	△大正人計	一	正月準備	一	正月準備	一	昭和・昭和・昭和

東坡日報

第四十共刊夕朝
子刊 朝
荒井のお乳
電本局一〇〇四
電話四七三二

三人目の女

浅原 六朗
大坂圭吉

新現代人妻

讀本 菊池寛

邪教は西から

神風・亞歐行を解剖する
異邦人アラベスク

女が誰が一番金を儲けてゐる

記者・大相模生活実況放送 C 記者
モデル化け込み記 D 記者
判 六大學合宿風景 E 記者

獨裁者は女優がお好き

黒輪 十夫

未完成

水江瀧子

だまは

座談會

世界大戦秘録

エムデン艦上スキャン

エムデン艦上スキャン

官界進出の絶好機

通信教授界に萬丈の氣を吐く本
會事務所
獨學で判任官

普通文官講義

官任判官高等官司法官等
出績年々等
日本通信法學會
東京市 澁谷區 明治御堂表參道
東京市 澁谷區 明治御堂表參道

現代書道講座

毛筆とペン字と手紙併講
全八巻 完成
現代書道講習會

結城藏相を怒せた細川ちか子

情痴の半生
果して誰か？彼女的生活は赤澤々に白下になつたのは

話

神風號で朝日は幾ら使つたか
淫虐を極めた朝鮮白白教を暴く
女子醫専を裏から覗く
生死の語
死の冒險
家の會話
關西の雄・栗本勇之助といふ男
司法省を解剖する 女流武道家總まくり
自殺？新婚一夜の謎を残して死んだ夫
寶塚少女歌劇後援會の裏
新政黨は何故なく出来ぬ
佛教各派管長の生活振興
殺し中根二郎獄中の心境
一流新聞社廣告台合戦
王子製紙の獨占振りを暴く
GPUに拉致された日本人
ホルモン剤の儲け振り
富選支那の秘密結社「青幫」の刑罰
松竹・東寶の映画スター！引拔の裏を語る話の會

松竹・東寶の映画スター！引拔の裏を語る話の會

裏を語る話の會

慢性胃腸病にはアイフ



消し飛んだ胃腸の重圧

これでこそ本調子の 食欲だ！消化力だ！

胃腸病も慢性になると……

胸がやけるこが、嘔つこが、嘔気が出る、食欲がない、胃や下腹が重苦しい、時には痛む、下痢する、便秘だ等々種々な症状に悩まされ、全く憂鬱になるものでありますが、これらは大抵、胃腸粘膜の慢性的な炎症に基因してゐることが多いものです。

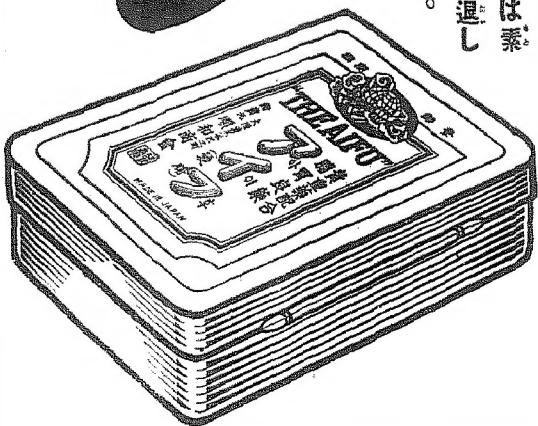
事實、胃腸に炎症があるこ、胃腸内壁の緊張が減弱して收縮作用が衰へますから、食物と消化液との混和が悪くなります。その上、分泌神経の興奮から胃液過剰症や胃酸過多症を起しますから、胃の出口である幽門の閉鎖が反射的に強まり、食物の排出が妨げられる訳りでなく、腸液の分泌にも影響して、腐敗、醗酵等の原因を作ります。

食欲があつても思ふ程食べられない……こが、何も食べない時でも胃につかへてゐるやうで、振水音や腹鳴りがするのここれがためで、油断をすれば炎症が亢進して粘膜下層を貫き、胃潰瘍や十二指腸潰瘍に轉化したり、胃癌を誘發する等の危険が生じます。

ですからこんな場合、徒らに酵素剤の補助に俟つたり、制酸剤等を濫用するより、胃腸粘膜の炎症や弛緩、分泌及び蠕動の異常等、病原を除いて胃腸自身の消化機能を正常に引戻すこが肝要であります。

慢性胃腸病にはアイフが宜い……と謂はれるのこ、實にかうした病原排除を治療の主眼にしてゐるからで、治療薬アイフを服むと主薬が

まづ胃腸内壁の病變部に沈着して炎症を癒し、粘膜を強め、弛緩を引締め分泌や蠕動異常を整へるとともに、腸管内の有毒物質を吸着して體外に排泄する等、廣汎な病原治療を営みますから、胃部の停滯、壓迫、膨満感、素より、胸やけ、嘔氣、惡心、胃痛、腹痛、下痢、便秘等の諸症状も消退して、食欲は進み、消化は捗るなど、胃腸機能が自然に活潑に向ひます。



町之西谷水清區京市阪大
會商和順舖本資發

番三〇〇五・二〇〇五・〇〇〇五(東)部電番五四三阪大番
地番九町珍吳區本京東
番〇一〇四(小)部電番八二六京東番
目丁一通縣山市連大
番八〇六七部電番五六七三連大番

價 藥

錢五十七	分	日	四
錢十五圓	分	日	八
圓	分	日	十
圓	分	日	十
ファイア	製	特	はに能便
ファイア	製	特	はに能便

▶りあに店藥名有の所る到國全◀

